

市町村指定文化財取材票 <<表>>

| | | | | | |
|-------|--------------------|----|-----|-------------|----|
| 取材日 | 2023年 | 4月 | 12日 | (記入者) 久門たつお | |
| 取材参加者 | 石井 | 垣内 | 久門 | 小西 | 島田 |
| | 鶴田 | 本井 | | | |
| 取材対象先 | 大和郡山市：金剛山寺の木造吉祥天立像 | | | | |

| | | | | | |
|-------------|--|----|---------------------------|--|--|
| 所在地 | 大和郡山市矢田町3506、金剛山寺（通称・矢田寺、高野山真言宗） | | | | |
| 所有者（取材対応者）名 | 前川真澄・金剛山寺山主＝大門坊住職（個人情報守秘） | | 連絡先 0743-53-1445 | | |
| | PCアドレス | | | | |
| 取材申込 | 申込先・行政名など：金剛山寺 | | | | |
| 市町村指定文化財 | 彫刻 | 1躯 | 木造吉祥天立像 2022（令和4）年3月31日指定 | | |
| | 建造物 | 棟 | | | |
| 文化財指定理由 | 室町後期に宿院仏師の源次により制作されたことが判明しており像の安定感のある表現、手慣れた衣の彫りなどが工房の作品の特徴を表している。 | | | | |

文化財の状況

| | 設備・対策・点検・通知方法など | 記入者の感想 |
|-------------------|---|--|
| 防火対策 | 本堂には多くの仏像を安置しており、防火を徹底している。消火器配備、火災感知器（熱・煙）、火災報知機と避雷針の設置、周辺に自衛消防隊が使う放水銃も備えている。 | 充実している防火設備の確実な運用を望みたい。 |
| 獣害対策 | 被害の有無、対策など 矢田丘陵の中腹にあり、周辺ではイノシシ、アライグマなどが出没しているが、獣害対策の金網を寺の山側に設置している効果で被害は発生していない。 | 記入者の感想 伽藍配置上、夜間に門を閉め切ることにはできないという。引き続き獣害には注意が必要と思われる。 |
| 保存～継承へ苦労と今後の課題と対策 | 本堂には内陣厨子に矢田地蔵三尊とも呼ばれる本尊の地蔵菩薩立像（平安時代・重文）、十一面観音立像（奈良時代・重文）、吉祥天立像（室町時代・市指定）の3体が安置され、他にも多くの仏像を所蔵している。本堂は県補助も得て1995（平成7）年から8年をかけて解体修理し、防火対策を充実させるとともに、老朽化した部材は取り替え、瓦も地震対策として軽量化した。 | |

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題（修復、維持、管理、環境など）

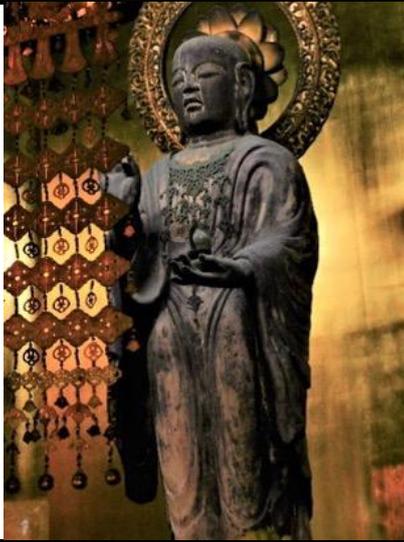
アジサイ寺の名で知られる金剛山寺（矢田寺）。コロナ禍の2020年、2021年は開花前に寺の売りであるアジサイを刈り取って、アジサイ愛好者に入山を諦めてもらう究極の対策を断行した。前川山主も「苦渋の決断だった」と振り返られた。平穏な社会であってこそ観光寺院が成り立つことを示されたとも言え、本堂の本尊・地蔵菩薩立像が苦難にある人々を救済されるという教えが身近に感じられた。

市町村指定文化財取材票《裏》

| | | | | | |
|-------|--------------------|----|-----|-------------|----|
| 取材日 | 2023年 | 4月 | 12日 | (記入者) 久門たつお | |
| 取材参加者 | 石井 | 垣内 | 久門 | 小西 | 島田 |
| | 鶴田 | 本井 | | | |
| 取材対象先 | 大和郡山市：金剛山寺の木造吉祥天立像 | | | | |

〈写真撮影・掲載許可済み〉

文化財指定名：木造吉祥天立像

| | |
|---|--|
| 市指定文化財の木造吉祥天立像（市HPから） | 重文の本尊・木造地藏菩薩立像 |
|  |  |
| 本堂内陣の厨子に安置の吉祥天立像（左）など | 県指定文化財の江戸時代建立の本堂 |
|  |  |
| 文化財の由緒・説明板の有無など | 所有社寺や地域（廃寺など）の歴史や特徴等 |
| <p>吉祥天立像は頭はヒノキ、胴はマツ、天衣はサクラの3種の材の寄木造で高さ1.89m。像の内部に記された墨書から、1563（永禄6）年に奈良の宿院仏師の源次によって制作されたことが判明している。像の安定感のある表現、個性的な目鼻立ち、手慣れた衣の彫りが源次工房の作品の特徴を表している。（以上、市HPから）衣の赤、緑は今も鮮やか。特に説明板はない。</p> | <p>大海人皇子が壬申の乱の前、矢田山に登って戦勝祈願し、天武天皇即位後に金剛山寺が創建されたと伝わる。当初は十一面観世音菩薩像と吉祥天像を本尊としていたが、平安時代初期に満米上人によって地藏菩薩像が安置されて以来、地藏信仰の中心寺院として知られるようになった。本堂内陣の矢田地蔵三尊を安置する厨子は江戸時代に桂昌院が寄進したもので、桧皮葺の豪華な造り。例年、6月が特別拝観期間となっている。</p> |